

## 市長の式辞

令和6年の新春を迎え、新しい時代を担う皆さんが、本日ここに成人の日という輝かしい門出を迎えられたことを、市民を代表いたしまして心からお祝いを申し上げます。

また、この佳き日を迎えるにあたり、皆さんをここまで大切に育ててこられた御家族の皆様、長年にわたり成長を見守ってくださった地域の皆様、そして御指導、御支援いただきました教育関係者の皆様に深く敬意を表します。

皆さんもご存じのとおり、令和4年（2022年）の4月1日に民法改正が施行され、成年年齢が18歳に引き下げられました。しかし、「二十歳」は人生の大きな節目であり、本日お集りの皆さんや同年代の方々の強い要望をいただき、昨年より「成人の日記念式典」として挙行しています。そして本日皆さんは、未来への夢と希望を胸に新たな気持ちでこの式典に臨まれていることと思います。

さて、昨年も文化、スポーツの世界では、皆さんと同じく若い世代の方々がたくさん活躍された年になりました。将棋の世界では、藤井聡太9段が史上初となる8冠を達成し、今まで誰もが成しえなかった偉業は記憶に新しいところではないでしょうか。

また、スポーツでは、世界的なイベントが次々に開催されましたが、その中でもワールド・ベースボール・クラシックでの日本代表チームである若き侍ジャパンの活躍は、私たちにたくさんの勇気、元気、そして希望をもたらしてくれました。

侍ジャパンの中心的存在であった大谷翔平選手は、アメリカとの決勝戦に先立ち、ロッカールームでチームメイトに、「世界一になるために今日はあこがれることをやめましょう！」と激を飛ばしました。なんと熱のこもった力強い決意でしょうか。メンバーもこれに応え、熱戦を制して見事優勝を勝ち取ったのです。

この先、皆さんも、今ある夢や目標に向かい、日本国内に限らず世界へと羽ばたき、様々な場所で活躍されることでしょう。

そんな夢や目標に向かって歩いていく先では、様々な場面に直面し、気持ちが弱くなったり、戸惑ってしまうときがあるかもしれません。

しかし、どんなときも自分の力を信じて、失敗を恐れることなく挑戦をしていてもらいたいと思います。そして、そんな皆さんの周りには、御家族や地域の皆様、先生方など、皆さんを応援する心強い支援者と、本日ここに集まった大勢の仲間がいることを、決して忘れないでください。

結びにあたり、二十歳の皆さんの夢と希望に満ちた輝かしい前途を祝福し、また、今後のさらなる御活躍と御多幸を心から御祈念申し上げまして、成人の日の式辞といたします。

令和6年1月8日

朝霞市長 富岡勝則